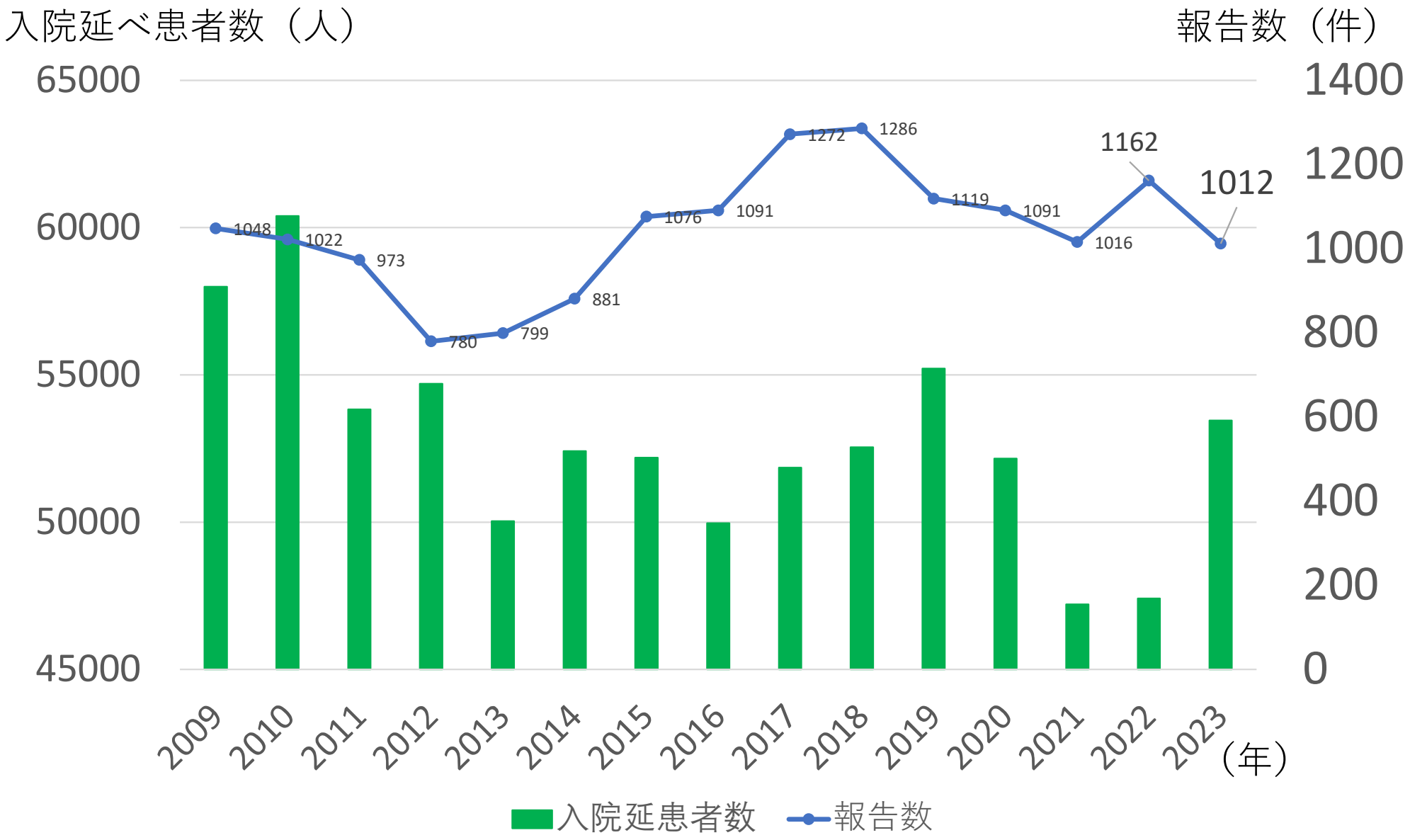
2023年度
医療安全に関する報告

安全管理委員会

2024年　6月

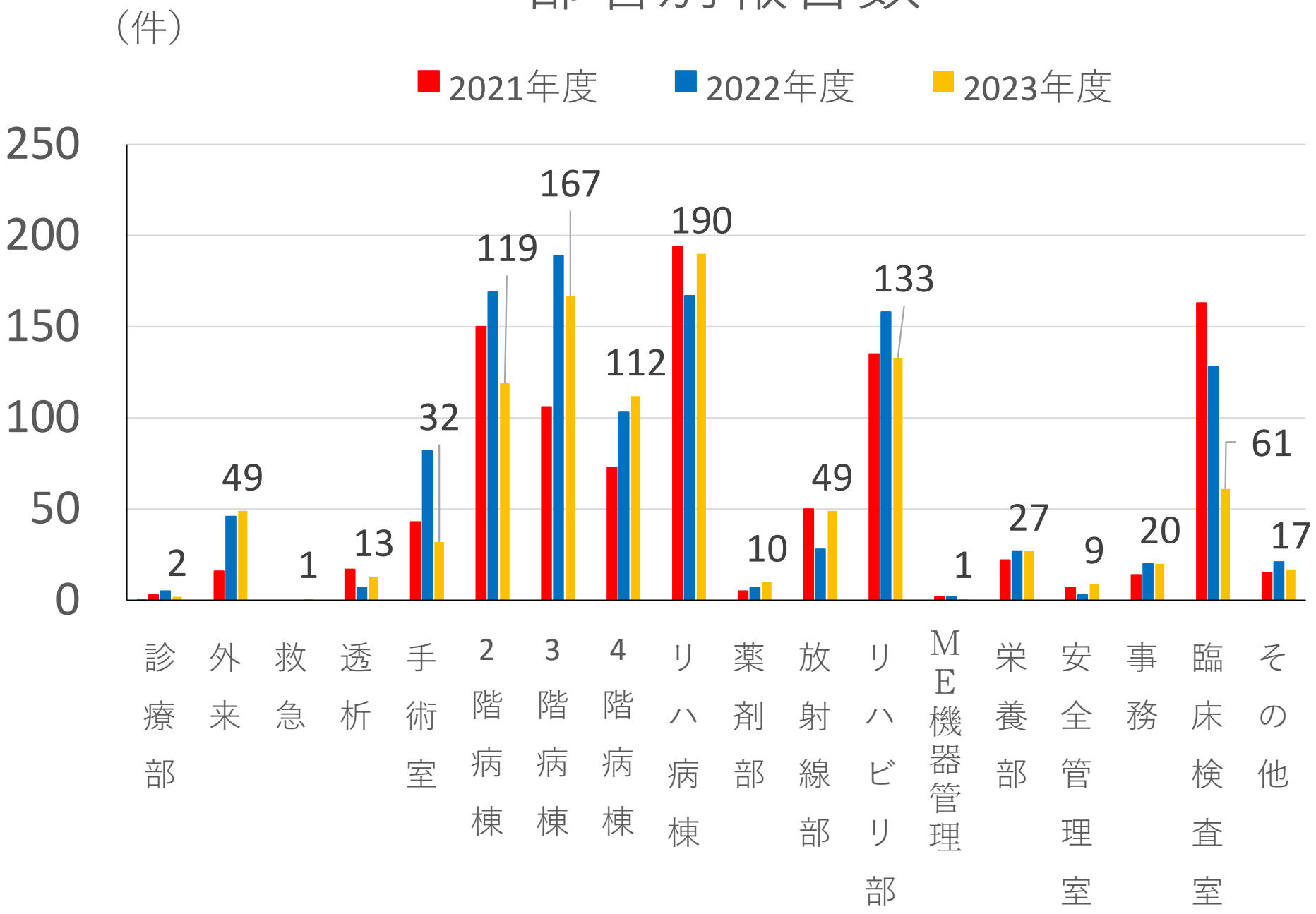
入院延べ患者数と報告数の推移



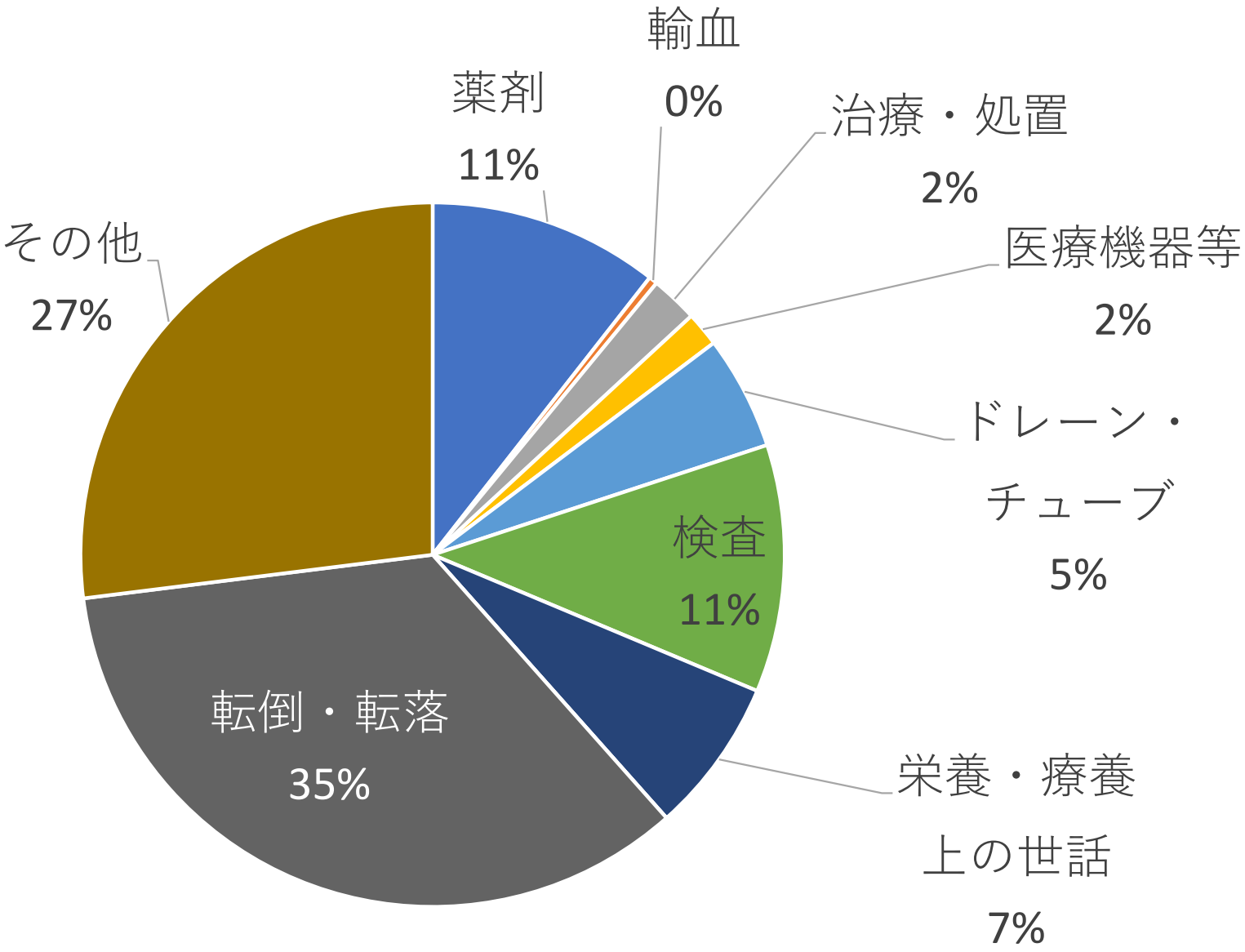
部署別インシデント・アクシデント報告の年間件数

	インシデント　他				アクシデント				総　　数			
年 度	2020	2021	2022	2023	2020	2021	2022	2023	2020	2021	2022	2023
報告数	1039	964	1083	938	52	52	79	74	1091	1016	1162	**1012**
診療部	1	3	1	1	1	0	4	1	2	3	5	**2**
安全管理室	9	2	2	5	7	5	1	4	16	7	3	**9**
看護部	639	559	698	622	40	41	65	61	679	600	763	**683**
薬剤部	7	4	7	10	0	1	0	0	7	5	7	**10**
放射線科・ME・臨床検査	166	215	157	110	0	0	1	1	166	215	158	**111**
調理室	82	22	27	27	0	0	0	0	82	22	27	**27**
リハビリ部	105	130	151	126	3	5	7	7	108	135	158	**133**
事務部	21	15	20	20	1	0	0	0	22	15	20	**20**
その他	9	14	20	17	0	0	1	0	9	14	21	**17**

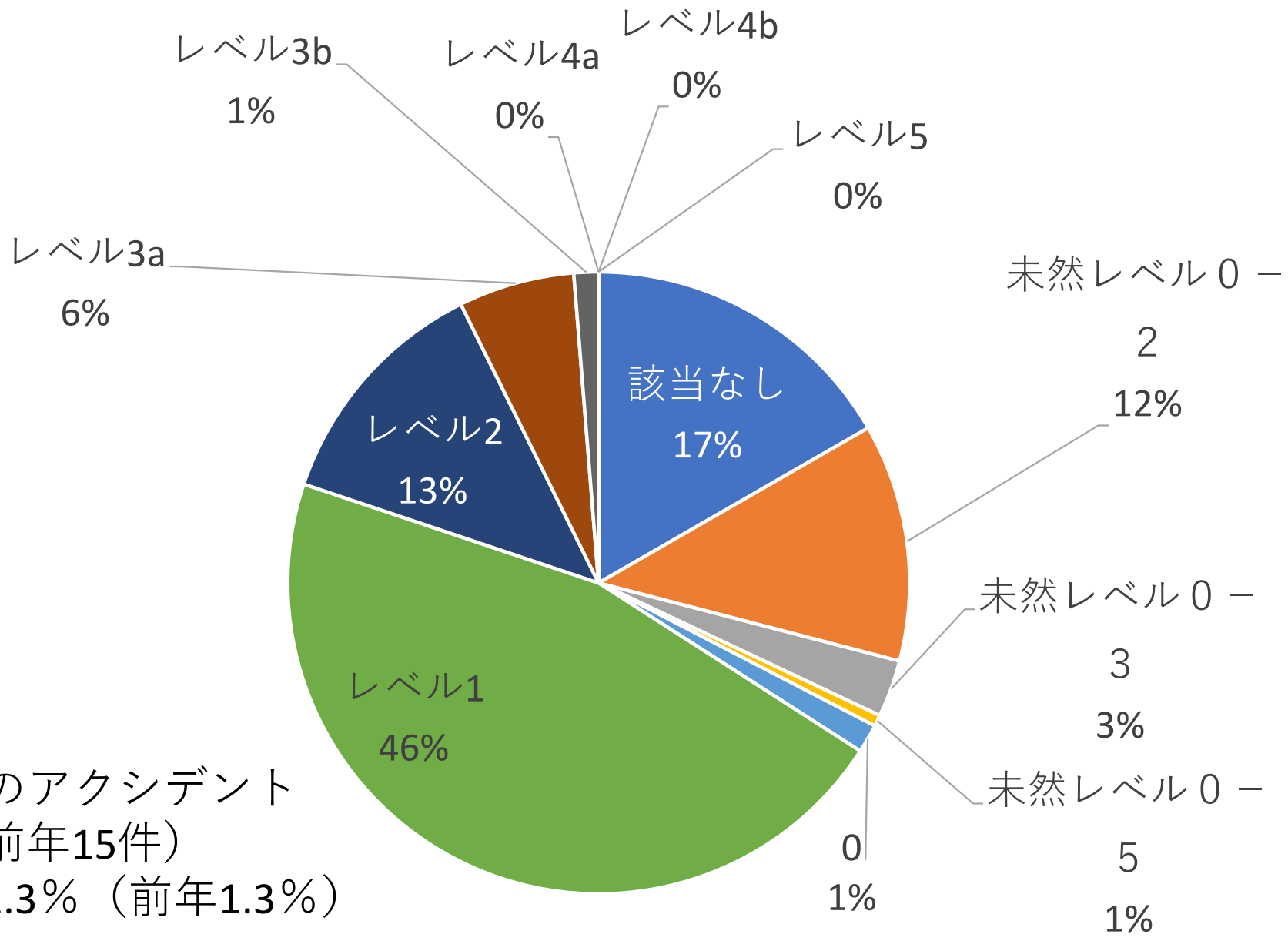
部署別報告数


（件）
2021年度
2022年度
2023年度
250
200
150
100
50
0
2
49
1
13
32
119
167
112
190
10
49
133
1
27
9
20
61
17
診療部
外来
救急
透析
手術室
2階病棟
3階病棟
4階病棟
リハ病棟
薬剤部
放射線部
リハビリ部
ME機器管理
栄養部
安全管理室
事務
臨床検査室
その他

発生場面の報告割合


輸血
0%
薬剤
11%
治療・処置
2%
医療機器等
2%
ドレーン・
チューブ
5%
検査
11%
栄養・療養
上の世話
7%
転倒・転落
35%
その他
27%

患者影響レベル別の割合



3b以上のアクシデント
13件（前年15件）
発生率1.3％（前年1.3％）

患者影響レベルの説明

患者影響レベル	説明
該当なし	患者影響レベルに該当しないもの。その他。
未然レベル	実施されなかった。
レベル0	医薬品や医療機器の不具合があったが、患者に実施されなかった。
レベル1	医療行為（医療ミス、やるべき処置等を実施しなかった場合も含む）や管理上の問題により、患者への実害はなかったが、患者に何らかの影響をあたえた可能性を否定できない。
レベル2	一過性で障害は軽度。患者にバイタルサイン等の変化が生じ観察の強化及び、検査の必要が生じた。湿布・カットバン等
レベル3a	一過性で障害は中等度。簡単な処置や治療を要した（皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）。
レベル3b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折等）。一過性で障害が重度
レベル4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
レベル4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う。
レベル5	事故が死因となる場合。現疾患の自然経過によるものをのぞく。